

テーマ	全経対策 (Ⅷ)：精算表・F/S の構造・伝票・本支店会計・荷為替						
学籍番号	/	/	/	/	/	氏名	

1. 経法商店（会計期間は 4 月 1 日～3 月 31 日）の精算表を、次の決算整理事項によって完成しなさい。（全経 3 級対策：第 164 回）

- (1) 期末商品棚卸高 270,000 円
- (2) 貸倒引当金 売掛金残高の 1.2% の貸倒れを見積る。差額補充法により処理すること。
- (3) 備品減価償却 定額法により減価償却費の計算を行い、直接法により記帳している。  
なお備品は前々期首に購入し、直ちに事業の用に供したものである。  
(取得原価 1,250,000 円であり、耐用年数は 5 年、残存価額はゼロとする。)
- (4) 現金過不足の残高は、原因不明につき、雑益として処理する。
- (5) 引出金の整理

2. 次の資料 (1) ～ (3) によって、期首純資産・費用総額・当期純利益の各金額を求めなさい。なお、期中において純資産を直接的に増減させる取引はなかった。（全経 3 級対策：第 164 回）

- (1) 期首 現金：50,000 円 当座預金：1,800,000 円 売掛金：680,000 円 受取手形：800,000 円  
商品：220,000 円 車両運搬具：1,500,000 円 買掛金：550,000 円 借入金：1,500,000 円
- (2) 期末 現金：30,000 円 当座預金：2,050,000 円 売掛金：730,000 円 受取手形：780,000 円  
商品：260,000 円 車両運搬具：1,000,000 円 買掛金：520,000 円 借入金：900,000 円  
未払金：200,000 円
- (3) この期の収益の総額：2,130,000 円

3. 次の資料によって、期首資本（純資産）、売上原価、売上総利益、当期純利益の各金額を求めなさい。損益取引以外の取引により生じた純資産の変動はないものとする。（全経 3 級対策：第 166 回）

- (1) 期首 資産：35,350,000 円（うち、商品：1,600,000 円）、負債：18,000,000 円
- (2) 期末 資産：42,700,000 円（うち、商品：2,100,000 円）、負債：24,300,000 円
- (3) 純売上高 27,500,000 円
- (4) 純仕入高 20,300,000 円

テーマ	全経対策 (Ⅷ)：精算表・F/S の構造・伝票・本支店会計・荷為替				
学籍番号					氏名

4. 5 伝票制にもとづいて起票された次の取引を 3 伝票制で起票すればどうなるか。(1) 取引を現金仕入と掛仕入とに分解して処理する方法、(2) いったん全額を掛けによる仕入取引として処理する方法のそれぞれに関して答案用紙における各伝票の空欄を埋めなさい。(2 級対策)

5. 次の取引について本店および支店の両者の立場から仕訳を示しなさい。(2 級対策)

- (1) 本店は支店に現金 ¥200,000 を送り、支店はこれを受け取った。
- (2) 支店は本店の買掛金 ¥360,000 を小切手を振り出して支払い、本店はこの連絡を受けた。
- (3) 本店は支店に商品 ¥400,000 (原価) を、原価に 10% の利益を加算した価額をもって送付した。

6. 次の取引について仕訳を示しなさい。(2 級対策：第 163 回)

- (1) 八尾商店は、花岡商店から商品 750,000 円を仕入れ、代金のうち 400,000 円は、自己宛為替手形を振り出し、残額は掛けとした。引取運賃 8,000 円を現金で支払った。

7. 次の資料によって、期末純資産 (資本)、純売上高を除く収益総額、売上総利益および当期純利益の金額を求めなさい。

(全経 2 級対策：第 162 回)

(1) 資産・負債

	(期首)	(期末)
現金・預金	1,424,000 円	1,526,000 円
売掛金	1,536,000 円	1,612,000 円
商品	720,000 円	750,000 円
買掛金	1,350,000 円	1,298,000 円

(2) 期間中の商品売買取引

- ① 当期総仕入高 3,785,000 円
- ② 当期仕入返品高 413,000 円
- ③ 当期総売上高 4,965,000 円
- ④ 当期売上返品高 343,000 円

- (3) 純売上高を除く期間中の収益総額 ?
- (4) 売上原価を除く期間中の費用総額 1,246,000 円
- (5) 期間中の資本引出高 350,000 円
- (6) 期間中の資本追加元入高 400,000 円

テーマ	全経対策 (Ⅷ)：精算表・F/S の構造・伝票・本支店会計・荷為替								
学籍番号								氏名	

1.

精 算 表

勘定科目	試算表		整理記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金	169,000						169,000	
現金過不足		3,000	3,000					
当座預金	3,440,000						3,440,000	
売掛金	1,000,000						1,000,000	
貸倒引当金		9,000		3,000				12,000
有価証券	900,000						900,000	
繰越商品	220,000		270,000	220,000			270,000	
貸付金	500,000						500,000	
備品	750,000			250,000			500,000	
買掛金		480,000						480,000
前受金		64,000						64,000
借入金		2,100,000						2,100,000
資本金		4,000,000	50,000					3,950,000
引出金	50,000			50,000				
売上		4,220,000				4,220,000		
受取手数料		8,000				8,000		
受取利息		116,000				116,000		
仕入	1,600,000		220,000	270,000	1,550,000			
給料	890,000				890,000			
広告費	200,000				200,000			
交通費	510,000				510,000			
通信費	190,000				190,000			
消耗品費	30,000				30,000			
支払家賃	360,000				360,000			
水道光熱費	90,000				90,000			
支払利息	101,000				101,000			
	11,000,000	11,000,000						
貸倒引当金繰入			3,000		3,000			
減価償却費			250,000		250,000			
雑益				3,000		3,000		
当期純利益					173,000			173,000
			796,000	796,000	4,347,000	4,347,000	6,779,000	6,779,000

テーマ	全経対策 (Ⅷ)：精算表・F/S の構造・伝票・本支店会計・荷為替				
学籍番号	/	/	/	/	氏名

2.

期首純資産	3,000,000 円
費用総額	1,900,000 円
当期純利益	230,000 円

3.

期首資本 (純資産)	17,350,000 円
売上原価	19,800,000 円
売上総利益	7,700,000 円
当期純利益	1,050,000 円

テーマ	全経対策 (Ⅷ)：精算表・F/S の構造・伝票・本支店会計・荷為替				
学籍番号					氏名

4.

出金伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
買掛金	100,000

仕入伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
買掛金	400,000

(1)

出金伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
仕入	100,000

振替伝票 ×1 年 7 月 1 日			
科目	金額	科目	金額
仕入	300,000	買掛金	300,000

(2)

出金伝票 ×1 年 7 月 1 日	
科目	金額
買掛金	100,000

振替伝票 ×1 年 7 月 1 日			
科目	金額	科目	金額
仕入	400,000	買掛金	400,000

5.

(1)

	借方		貸方	
本店	支店	200,000	現金	200,000
支店	現金	200,000	本店	200,000

(2)

	借方		貸方	
本店	買掛金	360,000	支店	360,000
支店	本店	360,000	当座預金	360,000

(3)

	借方		貸方	
本店	支店	440,000	支店へ売上	440,000
支店	本店より仕入	440,000	本店	440,000

テーマ	全経対策 (Ⅷ)：精算表・F/S の構造・伝票・本支店会計・荷為替					
学籍番号						氏名

6.

	借方	貸方
(1)	仕入 758,000	支払手形 400,000 買掛金 350,000 現金 8,000

7.

期末純資産（資本）	2,590,000 円
純売上高を除く収益総額	176,000 円
売上総利益	1,280,000 円
当期純利益	210,000 円